

## 7月27日：新型コロナ感染者増でVN指数は下落

VN指数は5.31%安の785.17ポイントで月曜日の取引を終えた。3月23日以来の大幅な下落となった。

指数は5月6日からの上昇が帳消しの水準まで下落した。新型コロナの感染拡大懸念が売りを引き起こした。

ダナン市で市中感染が確認され、隣のクアンガイ省でも確認された。当局は感染元を捜索中である。

新型コロナの市中感染を受けて、感染拡大防止のために飛行機やバスなどの輸送の停止と消毒、マスク着用、健康申告などが義務づけられた。

しかしながら、外国人投資家は2営業日連続で押し目買いに動き買い越しとなった。

ホーチミン取引所では、377銘柄が下落し33銘柄のみが上昇した。

出来高は7.02兆ドンでわずかに減少したが、平均よりは上の水準だった。

VN30指数は5.48%安、すべての銘柄が値下がりした。その中でも17銘柄がストップ安となった。

多くの銀行株がストップ安となった。軍隊商業銀行(MBB)、ベティンバンク(CTG)、HDバンク(HDB)、サコムバンク(STB)、テクコムバンク(TCB)、VPバンク(VPB)などがそうであった。

ベトコムバンク(VCB)とエクシムバンク(EIB)はそれぞれ4.9%安、2.4%安となった。

金融セクターでは、バオベトホールディングス(BVH)とSSI証券(SSI)がストップ安となった。

その他、フーニュアンジュエリー(PNJ)、コテコンズ建設(CTD)、TTC製糖(SBT)、ビナミルク(VNM)などが下落した。

ビンググループ (VIC) はその他の銘柄よりも下落幅が小さかった。ビンググループ (VIC) は 3.4%安、ビンコムリテール (VRE) は 4.1%安、ビンホームズ (VHM) は 6.7%安だった。

ノバランド不動産 (NVL) はもっとも下落幅が小さく 0.2%安で取引を終えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 6.84%安、UPCoM 指数は 3.82%安となった。

外国人投資家は VCB、VHM などに買いを集めていた。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。